

## 2023. 4 月のブルーベリー農園その 3

4月の半ばは不安定な天気です。15日は雨で農作業はなし。16日も午後から雨と春雷で荒れた一日となった。ブルーベリー栽培のため東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から週末を中心に通っている。植物も人も活発に動く季節なので農作業もやりやすいのだが、今シーズンもブルーベリーの剪定は遅れ気味。根がぐく、でいくしかないと言いつけさせている。



4月16日（日）

ブルーベリー畑の道路の向こうの田んぼではトラクターを使って田植え前の荒おこしが行われている。畔にはその作業に子どもたちが見入っている。

里山の杉林の中にヤマザクラとウワミゾザクラ（上溝桜）が競うように咲いているの見える。



白い花穂の長さは10センチくらい。



畑のブルーベリーの木々の色合いは淡い赤茶色になっている。蕾が膨らみ、葉の芽が膨んできているのでこのような景色に変わる。



午後2時過ぎ、ブルーベリー畑の防草シートを敷いたり、剪定した枝の片付けをしていると、空が暗くなり春雷がやってきた。



ブルーベリー畑を逆方向から眺める。こんもりとした



まもなく雨が降ってきたので農作業の手を止めて3時のおやつタイムにする。



結局雨が降ったりやんだり、帰るころには日がさしたりの気まぐれ天気になり回されてしまった。



農園の庭の真っ赤なキリシマツツジが咲きだした。



ブルーベリー畑のタンポポ。今年は花が多いようだ。



蔵の後ろの庭にもちょこっと咲いている。



4月21日（金）

援農に来た友人たち3人で、いい天気になったのでたまったブルーベリーの枝の野焼きを手伝ってもらったり、畑に切ったままにして散らばっている枝の片付けや、防草シートを敷く作業も協働した。そして熾火でサツマイモを焼くのも忘れなかった。



2023年4月23日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2023年4月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

